

アセアンで家事代行サービス拡大 バンコク、ベトナムの直営も順調

さくら介護グループ

介護サービス
をフランチャイ
ズ（FC）方式で
全国展開する、さ
くら介護グループ
（中区大手町3ー
13ー18、榊井伸二
社長）は、メイド
を使う文化を持つ
タイで中間層を対
象とした家事代行
サービスを拡大し
ている。現地法人
で、バンコク市内
に現在11拠点（う
ち直営1）、11月ま
でに新たに2拠点
を開業する予定。高齢化が進む同国
では数年内に介護保険制度の導入が
予測されており、家事代行と併せて
介護市場への進出も計画している。

日本円で月収20〜25万円の間層
向け家事代行で実績を挙げ、介護分
野の市場開拓につなげる狙い。併せ
てアセアンへも展開し、年内に20拠
点を目指す。バンコクの現地法人で
2014年4月から家事代行サービ
スを始め、10月時点で150人が利
用。身元を保証し、研修を施した40
代女性を中心に現地スタッフ30人が
従事しており、ゆくゆくはヘルパー
として育てていく。加盟店に対して
は、出店候補地の選定・契約や現地
スタッフの求人など、開業〜運営を
支援し、経営を指導。6、8月に続き

12月にも事業所を見学する視察ツア
ーを計画している（4〜6日）。同時
期にベトナムへも進出し、富裕層向
けに直営でサービスを提供している。
FC加盟店は現在、北海道〜九州
に約200店で288事業所を運営。
同社は介護保険制度で煩雑なレセプ
ト処理業務などを代行し、経営指導
も行う。訪問介護と居宅介護支援、デ
イサービスのほか、自社ブランド「さ
くらコンフォート」でサービス付き高
齢者向け住宅も手掛け、加盟店運営
で16年3月に呉市川尻に、来夏に尾
道市に開業する。年内をめどに同住
宅の運営支援事業にも乗り出す。グ
ループ全体の売上高は約40億円規模
で、16年3月期に50億円を見込む。